

## 全体会午後の部 I

**司会者** それでは、全体会午後の部 I を行いたいと思います。午後の部の司会を担当させていただきます吉野中学校2年のx，国府中学校3年のuです。よろしくお願いします。午後の部は前半のIと後半のIIの2部構成になっています。最初に意見発表を3本していただき、その内容を通して、みんなで人権について語り合い、みんなで本当の笑顔を輝かせていきたいと思っております。みなさんどうぞ協力よろしくお願いします。まずは、前半1本目の意見発表です。藍住中学校2年村山あおいさん「語り合いの人権学習と生活ノート」です。よろしくお願いします。



### 語り合いの人権学習と生活ノート

藍住中学校 2年 村山あおい

私は、2日間、北島中学校の卒業生が取り組んだ「語り合いの人権学習」の映像を見て、言葉の重さ、友達や家族の大切さなどを学びました。たった2日間だけなのに、私は少し変わったと思います。

私は人の悪口をたくさん言ってきました。ある時、お母さんが、「もし、嫌いな人がおっても、絶対、悪口は言ったらあかんよ。言った分だけ、自分に返ってくるんやけん。」と話してくれたことがありました。その時、

私は「分かった。」と言っただけで、そのことの意味について考えることもなかったし、ただただその言葉を聞き流すだけでした。

私は、心の中で「やっぱり悪口は言ってしまう…、だってホンマに嫌いなんやもん…」とっていました。あるとき、私は友達から「〇〇から聞いたんやけど、私の悪口、言よつただろ。」と言われました。その日から私は除け者になりました。一人で教室にいる日や、違う友達といることが多くなりました。私はその時、お母さんの言うとおりに、自分に返ってきたんだと思いました。言葉というものは、はき出したら、元に戻せなくなります。

私は、今回、「語り合いの人権学習」から学んだことを生かして、友達や家族を大切にしていきたいと思っております。そうすれば、楽しい毎日がずっと続くと思っておりました。それから、私が友達や家族を大切にしたり、支えたりすると、友達や家族が私を支えてくれると思っておりました。

人は一人では生きていけない、誰かの支えが必要だということも学びました。今、まさに、私は家族だけでなく、いろんな人からも支えられて生きています。それを意識して、これからも、私の人生を楽しく生きていきたいです。



また、私たちは、学年で「語り合いの人権学習」について学ぶと共に、「生活ノート」を書くことを始めました。「生活ノート」と

は、日記のようなもので、大学ノートに1日1ページを目標に、今日あったことなどを書いていくノートです。この「生活ノート」について、私は最初、何でこんなめんどくさいことせなあかんのん、嫌やなと思っていました。でも、毎日少しずつでも、書いていくうちに、自分がまさに、言いたかったことや、心に秘めていたことが、すんなり出てくるようになりました。私は、このノートを「魔法のノート」かなと思うようになりました。

私は、この「生活ノート」を通して、自分と対話し、私の思いを綴っていき、私の人間性は磨いていきたいと思っています。私は、この「生活ノート」に自分を綴っていくことは、自分の思いを表現する力を育て、「語り合いの人権学習」をより確かなものにしていくことにつながっていくと思っています。

私は「生活ノート」をひたむきに綴ることを通して、私自身の中学校生活を充実したものにしていきたいと思っています。ご静聴ありがとうございました。

**司会者** ありがとうございました。どうぞ、もとの席に戻ってください。つづいて、前半2本目の意見発表です。藍住中学校2年光武磨凜さん「人権について思うこと」です。よろしくをお願いします。

## 「人権について思うこと」

藍住中学校 2年 光武磨凜

私は、4月、学年全体で学んだ人権学習で「人権」について深く考えることができました。私も今まで、いろんなつらい思いや悲しい思いをしてきました。けれど、北島中学校の卒業生が取り組んだ人権学習の映像で、私達と同じ年なのに、自分には考えられないようなつらい経験をしている人がたくさんいることを知りました。

でも、そのつらい経験を乗り越えた人は、自分自身と真っ直ぐに向き合うことで、必ず強くなっていくんだと思います。これからも、つらい経験が自分の人生の中では、数えきれないくらいおきていくと思います。そのことは、正直怖いですが、その現実としっかりと向き合っていけば、自分が強く成長できるに違いありません。

私はよく「自分の人生」について深く考えてしまいます。自分は、何のために生まれてきたのか、これから何をするのが一番いいのか、そんなことを考えながら、今まで生活をしてきました。そして、そのことが、少しずつ分かってきたような気がします。



自分の人生は、これからどうなっていくかまだ分かりません。ただ、1つだけ言えるのは、どの生き方が「正解だ!」というのではないということです。みんなそれぞれが、いろんな人との関わりを持ち、自分の思いや周りの人の思い、特に、友達や家族との人間関係が、先生も言ったように自分の人生を変えていくと思いました。

私は、自分の生き方に誇りをもって今を生きていこうと努力しています。そして私が、もし大人になったときに、「あの時あんなふうにしといたらよかったなあ」という、後悔は絶対したくありません。だから、毎日を意味のあるものとして過ごしています。

そして、自分が「ありがとう」と言われ

る存在でいること、心が通じ合える仲間がいること、今を楽しいと思うことができること、それは、自分が毎日を意味のあるものとして誇りを持って生きてきた証だと思います。だから私は、そんな生活をいつか実現させたいと思っています。

私は、これまでそんなに人権について考えたことはありません。でも、人権はみんなが幸せに毎日を過ごすためにあるものだと思います。だから、これからも、自分の意志を強く持ち、力強く生きていきたいと思っています。ご静聴ありがとうございました。

**司会者** ありがとうございました。どうぞ、もとの席に戻ってください。つづいて、前半3本目の意見発表です。高浦中学校3年佐藤小夏さん「差別のない社会へ」です。よろしくお祈りします。



## 「差別のない社会へ」

高浦中学校 3年 佐藤小夏

中学校で私が一番よく学習した人権問題は、同和問題についてです。小学校でも少し学習しましたが、「同和地区」、「部落差別」と聞いても、あまりピンときませんでした。しかし、昨年、中学校の先生に誘われて行った人権交流集会や講演会で、同和問題が基本的人権にかかわる大きな人権問題であるということを知りました。特定の地域出

身であることやそこに住んでいることを理由に、結婚を反対されたり、就職や日常生活の中で様々な差別を受けたりする。ずっと昔からそんなあつてはならない差別が行われてきたのです。初めて、そんな差別の実態を聞いたとき、私は驚くと同時に、今までの自分が人権問題について勉強不足であったことを強く実感しました。その後、少しずつですが以前よりも積極的に人権学習に取り組むようになりました。そして、去年の夏、人権を語り合う中学生交流集会でこんな体験をしました。集会の中に、少人数のグループになり同和問題について話し合う活動がありました。その時、同じグループの女子生徒Aさんが自分の母親のことについて語ってくれました。Aさんが同和問題についての人権集会に行くと言うと、Aさんの母親は「なんでそんな会に行くの。」と言ったそうです。悲しいことに、Aさんの母親は、同和地区出身の人は差別されても仕方がないという誤った考えをもっていたのです。Aさんは、すぐに母親に言い返しました。人を生まれた場所で差別してはいけないこと、母親の考えは間違っていることをAさんは自分なりに精一杯伝え、「一緒に人権交流集会に参加しよう。」と母親を誘いました。Aさんの真っ直ぐな思いが通じて、Aさんの母親は集会に参加してくれました。母親は参加することを通して、自分の考えが間違っていることに気づき、考えを改めてくれたそうです。けれど、自分の母親が同和地区を差別していたことを知って、Aさんはとてもショックだったと話していました。もし、私の母親や家族、友達がAさんの母親と同じように同和地区に対して偏見や差別意識をもっていたら、私もAさんのように苦しい気持ちになっていたでしょう。また、自分の母親が間違った考えをしていたら、私はAさんのように母親の考えを変えることができるのだろうか

ととても不安になりました。

同和問題についての正しい知識がなかったり、自分では深く考えず、「みんながそうしているから」という意識にとらわれたりすることが同和問題を今でも根強く残している原因ではないかと思います。無知は人を傷つける凶器であり、知識がなければ正しい考えをもつことも誤った意見を指摘することもできません。さらに、今も同和問題が残っているのは、差別されている人がいると学習するからだと言う人もいます。それは絶対に違うと思います。「そっとしておけば差別はなくなるのに…」という意見は、「ひとごと」であり、差別されくやしい思いをしている人に対して「黙っておきなさい」と言うことと同じだと思います。同和問題に限らず、差別を受けた人が自らの体験を言葉にし、問題として訴えることは当然の権利です。物事を前進させていくことは、黙っていることによってではなく、学習し、声を上げ、行動していくことによってだと思えます。私は、この1年、差別解消に取り組むたくさんの熱い思いをもった方々や同世代の中学生や高校生と出会いつながることで、人権に対する考え方をより深く見つめ直すことができました。これからも「自分には関係がない」という弱い心に負けず、差別の現実から深く学び、自分も含めすべての人が幸せに生きていける社会の実現を目指していきたいです。

**司会者** ありがとうございます。それではこれから意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただけたらと思います。また、マイク係として藍住中学校2年のyさん、藍住中学校2年のzさん、応神中学校2年のa aさんの3人がフロアをまわります。なお、記録の関係上、発表者は学校名、学年、名

前を言ってから発表してください。それでは、よろしくお願いします。



**中山中学校 n** 最初の作文で思ったことは、「言葉は刃物」っていう言葉をよく聞くんですけど、本当にそれがよく分かる文だと思いました。私は悪口をたまに言われる方なんですけど、私の母さんがよく「そう言われたら放つときなさい。」って私に言ってくれます。正直、母さんの言うことによれば、人はそうやってからかうのを楽しんで、さらに悪口を言われて嫌がっている人を見てを楽しんでいるから、母さんは、「ほっとくのが一番。」だって言います。正論なんだけど、私のお母さんの言うことは間違っているなと思いました。

**中山中学校 w** 私も最初の話聞いて、悪口を言うとその何倍にもなって自分に返ってくると思ったので、悪口じゃなくて、人のいいところをたくさん言っていきたいと思いました。

**名和中学校 l** 僕は3つ目の作文で佐藤さんの作文を聞いて、「自分には関係がない」という弱い心にも負けず」というところにけっこう心をうたれました。もし、クラスでいじめがあった時に、その時僕が傍観者であつたり、いじめられていた人が僕の友達

だったり、クラスメイトであつたりと、その時なにかいじめられていた人にしてあげられることを見つけたりする行動力を身につけていきたいと思いました。そのために、自分には関係がないという弱い心を捨て、積極的に注意ができたり困っている人を助けてあげるような強い心をつくっていききたいなと思いました。終わります。

**高浦中学校 b** 「差別のない社会へ」という作文で「知識がなくても正しい考えはもてる」ということを去年、私はそう思っていました。でも、今やっぱりこの作文を読んでそれも誤っていることなんだなと思いました。だから、これからもっと勉強していききたいです。

**高浦中学校 a b** 僕は今まで陰で悪口を言っていたことがあるけど、この3人の作文を聞いて絶対に悪口やいじめをしないようにと絶対に決めました。



**名和中学校 k** 3つ目の「差別のない社会へ」で「そっとしておけば差別はなくなるのに」でそっとしておいたら、差別はなくならずにまだ逆に増えると思うので、この言葉を使ってはいけないと思います。

**北島中学校 a c** 「差別のない社会へ」を読んで、Aさんの母親が差別意識をもっていて、みんなに差別をなくそうっていうよりも近くの人に、近くの人から差別をなくしていくことが大切なんじゃないかなと思いました。



**藍住中学校 a d** 私は「差別のない社会へ」の発表を聞いて「そっとしておけば差別はなくなるのに」という意見は確かに私も間違いだと思います。差別はこうなんか、自分から動かないと絶対なくなると私も思っています。

**高浦中学校 a e** 差別は悪口をいったりするのは、自分が言わないようにしたら周りも見てそれでなくなると思うので、これを読んで聞いて差別をなくすようにまずは自分から悪口を言わないようにしたいと思います。

**土庄中学校 a f** 人権問題を他人事と考えずに自分のことと考えて勉強していきたいです。

**高浦中学校 a g** 「人権について思うこと」で「どの生き方が正解だということはない」という意見にすごく共感しました。自分の意思をしっかりとっていて感心できる人だ

など思いました。私も毎日を意味のあるものにして誇りをもてるようにしたいと思いました。

**板野中学校 h** 私は差別をなくすためには自分から差別をなくして行って最後は全員で差別のない社会を目指していけたらいいなど思いました。

**吉野中学校 f** 私の住んでいる所も昔、部落だったということを聞いたことがあります。だから、私の父は部落差別をされることはしょうがないというふうに片付けていました。そんな父に私は何もいってあげられませんでした。だから今日帰ってきちんと話がしたいです。



**屋島中学校 o** 「差別のない社会へ」の中にある「無知は人を傷つける凶器である」ということにとっても共感します。やっぱり同和問題という大きな問題を解決するには正しい知識が大切だと思います。今のうちにそういった知識を身につけておきたいと思いました。

**名和中学校 ah** 僕は同和問題の自分では深く考えずみんながそうしているからという意識のとらわれをすることがいけないと思うので自分はそういう意識のとらわれを

されないように強く意識をもっていきたいと思いました。

**大山中学校 ai** 「人権について思うこと」で「あの時あんな風にしとったらよかったらな」という後悔は絶対にしたくありません」という所で、僕はその通りだと思いました。今、後悔をしてしまうと大人の時にそれを引きずることになるかもしれないので、後悔をしないようにこれから生活をしていきたいです。



**高浦中学校 aj** 一番最初の作文を聞いて、僕は今まで数え切れないほど悪口を言いました。でも、この作文を聞いてできるだけ悪口を言うのを減らしていきたいと思いません。

**屋島中学校 ak** 初めの作文を聞いて、自分が発するすべての言葉に責任を負わなければいけないということが改めて分かりました。

**中山中学校 n** 最初の生活ノートと次の自分のやっていることを見直すことについて、自分のことを見直させて正直そういうことができすぎていいと思いました。特に生活ノートとかはものを書いて自分のやっていることをちゃんと見れるから、そういうやり方もいいやり方だなど思いました。

**名和中学校 a l** 私は「差別のない社会へ」の文を聞いて、私も自分には関係がないと思わずに誰でも関係あると思い、少しずつなくしていきたいと思いました。

**吉野中学校 a m** 「語り合いの人権学習と生活ノート」という発表を聞いて、私は人のいいところは悪いところを見つけるより難しいと聞きました。だから人は悪口を言ってしまうと思います。だから生活ノートで自分の生活を振り返るとともに、その日関わった友達のいいところも見つけれたらいいと思いました。



**大麻中学校 t** みんな、さっきの意見を聞いた中で悪口をいわないようにしていきたいとか言ってたんですけど、実際にそうやって思っているだけで、それが行動できているかっていうのはまた話は別で、こうやって言っている自分もすごく人の悪口とか言っているんですけど。つい最近の部活の時に顧問の先生が言ってくれたんですけど、「悪口を言った人に一番聞こえている人物、自分が悪口を言って、それを一番近くで聞いている人は誰？」っていうことを聞かれて、自分は正直あんまり意味が分からなかったっていうか、分からなかったんですけど、それは自分だったんですよ。自分が言うて、自分の体の一部に耳がついとるわけだから、自分が言うて先に聞こえるという

か近くで聞こえるのは自分で。その言葉は人に言っているかもしれないけど、一番自分がそれをとらえているというか一番聞いているから、悪口は人に言うても自分には返ってくるから言わないほうがいいとか。で、3年生の人は引退している人が多いと思うんですけど、うちの部活はまだ大会があって、引退してないんですけど。部活は歌の部活をしているんですけど、悪い心があればそれは全部歌にでてしまうので、悪口はあんまり言わないようにしてって先生も言っているんですけど。それはまあ一応みんな「はい。」とか「分かりました。」とか言うんやけど、悪口をまったく言わないことはやっぱりできんと思うし。なんか嫌なことをやられたり、言われたりしたら、やり返したくなるとか言い返したくなるとかもあると思うし、なくしていきたいとか思ってくれとるんはいいんやけど、それを行動に表したり少しでも悪口を言わないように気をつけてみたりとかしてくれたりもつといいかなとか思ったり。さっきみんなの意見すごく発表してくれて思ったことを言いました。すいません。



**大山中学校 q** 僕は「差別のない社会へ」で「みんながそうしているから」という言葉は、知識がない人とかはそういう人に対して「誰々がおるけん、いいや。」とかそういうことになってしまうので、しっかりと

自分の意見が発言できるようにそういう人になりたいです。

**土庄中学校 a n** 差別をなくす時はまず自分からなくしていこうと思いました。

**中山中学校 n** さっき私の前の人が言った意見みたいに、確かに口で言うだけではダメだけど、前私が別の講演で教わったことなんですけど、こういう時に人って言うのは真面目に兆しを見つけ出すんです。漢字で書くと「ちょう」って書くんですけど、数字とかの、けどそれがいい風にいけば「いどみ」っていう、きざしにさらに漢字がついて「いどみ」になるし、その心に負ければ、さらにきざしにしんによろがついて「逃げ」っていう言葉になるって聞いたことがありますけど、この先どうなるかは人それぞれだけど、何度もそういうことがあってもいいんじゃないかなと思います。



**高浦中学校 a g** さきほどtさんが真っ直ぐに自分の意見を言ってくれてよかったと思います。私はなるべく悪口を言わないように頑張っているつもりです。でも今はつもりなので、それがとれて悪口を言わないと断言できるようにしたいです。

**中山中学校 w** 私もさっきの意見に対して、悪口は最近なるべく言わないようにしているけど、人にはいいところもあれば悪いところもあるから、そういう悪いところを見つけてしまった時はすぐ悪口とかならずにもっといいところを探していこうと思いました。

**藍住中学校 j** 村山さんの発表を聞いて、生活ノートについて聞いて、私もめんどくさいなと思って書いていない日がとても多かったけど、これからはちゃんと毎日書いていって人のいいところや、あと自分の悪いところとかいろいろなことを書いていって、後で見返せるようにできるようにしていきたいなと思いました。



**藍住中学校 a o** 私が今回の中学生集会に行くにあたって、家族にその事情を話した時に父が「そんな集会に行っても意味があるの。」と問いかけてきました。その時に父が人権についての知識があんまりないんだなと思って悲しくなりました。この集会を通して、もちろん自分もそうですけど、身近なところから人権について学んでいけたらいいなと思いました。

**藍住中学校 i** さっき意見を発表して、みなさんの意見を聞いてたんですけど、やっ



ぱり自分の人権についての思いを发表することで、なんか聞いてくださったみなさんの意見が変わってきているのをすごく感じてうれしいなと思ったし、これからも自分の意見を伝えていきたいと思いました。やっぱり悪口を言ったら悪口が返ってくるというのがあったと思うんですけど。世の中にはやっぱり自分と合わない人がたくさんいると思うんですけど、やっぱりその人たち全員に悪口を言ったりするっていうのは、キリがないと思うし、そうやって悪口を言われて、何か悪口を言われないように努力しようとしたら、やっぱり素の自分じゃなくてつくったというか、ありのままの自分じゃなくなってしまうと思う。やっぱりありのままの自分でいろんな人たちに接していけたら、やっぱりその素の自分に近づいてくる友達っていうのも素の自分で近づいてきてくれるので、そういうのでやっぱり本当の絆っていうのをつくりあげていけたらいいなって思いました。

**大麻中学校 d** 高浦中学校3年の佐藤さんの「差別のない社会へ」ってあるんですが、差別のない社会っていうのは、はっきり言えば当たり前のことなんですけど、当たり前になっていないこの社会をどうすればいいのかっていうのを僕らが参加している育友会で今考えているんですけど、僕らが考えているのは差別をなくすための5つの合い言葉っていうのを今考えとって。その中で仲間っていうのと、知識っていうのと、感性っていうのと、行動力っていうのと、伝え合うっていうこの5つを出しています。この5つってけっこう大事って思うんですけど。この5つがなかったら、差別がなくならんああと俺らの中では思っているんですけど、この意味を簡単に説明してくれって、1回学校の校長先生に言われたんですよ。その時にどうやって説明しようってことになっ

て、仲間から考え始めたら、この仲間を説明するだけで、30分かかったんですよ。仲間だけで30分かかったんですよ。この調子でいったら、何時間かかるねんってなってきた、今知識までしか考えられてないんですけど、これからもちょっと、今日みなさんの意見も聞きたいなと思って出してみたんですけど、何か意見がある人は、説明これいいんちゃうんっていう意見があったらどんどんお願いします。



**高浦中学校 ap** 私は「差別のない社会へ」を聞いて、私も佐藤さんと同じように自分の身近な人がその間違った意見をもっていたら正すことはできないんじゃないか今は不安です。それはでも自分に人権の正しい知識があれば自信をもって人の意見を正すことができるんじゃないかと思います。私は今日のこの集会まで、学校の人権学習や人権集会に参加して人よりは人権について知識があるほうだと思っていました。でも、今までの話を聞いて私はまだまだ知識がなくて未熟なんだと感じました。それで、少しでも早く周りの人たちに人権問題の大切さや人権学習の素晴らしさを伝えられるために、時間はかかるとは思いますが、人権について知識を深めていきたいなと思います。残りのこの人権集会でも少しでも知識が深められるようによく話を聞いて、自分自身の考えを見つけていきたいなと思います。

**名和中学校 a l** 私は「差別の社会へ」で差別があるっていうことはみんなが居心地が悪いっていうことで、この居心地が悪いっていう社会を協力をして居心地のいい社会へとつくりあげていきたいと思いました。



**中山中学校 n** ちょっと少し関係ない話になるんですけど、私たまに大人がなんかちょっと嫌だなと思うときがあるんです。その理由は、何か大人って子ども以上に過剰評価が何か激しい感じがあるんですよね。極端に言えば大人って数字で納得しちゃうんですけど、例えば、年上の人と友達になったっていう時によく何歳ぐらいの子とか聞いたりして、答えたら満足する親とかがいるんですけど。極端な場合、「すごい家を見たよ。」とか言って簡単に説明しても、「すごくきれいなバラの花を見たよ。」とか言っても、なんか納得しないんですけど、値段とかそういうのを言うと、納得する人とかもいて、そういうちょっとしたことで、なんか満足するのが嫌だなって思います。だからちゃんと見て、ちゃんと知ってほしいなと思います。

**国府中学校 e** 私は「差別のない社会へ」を聞いて、間違った考えをもっている人たちがいることについてなんかこのようにいろんな人と交流する会に参加して、いろんな人と話してこのような差別がないような

仲間になれるように頑張りたいなと思いました。

**国府中学校 a q** 作文を聞いて、やっぱり差別はダメだなって思いました。

**国府中学校 u** さっきのtさんの話でtさんは歌だったんですけど、私もピアノを習っていて嫌だった時とか、モヤモヤした気持ちがあった時はうまく手が動かないってうか、音が濁って聞こえる時があるんですよ。やっぱりモヤモヤした気持ちとか悪口をいったりしたら、変な音になったり、自分の心が迷っているだけで音にでてくるんだな一って分かりました。それと、今、自分のこと、自分のそばのことを話すことが大切だと思います。ここだから話せる今の自分の不安や聞いてほしいことなどをぜひ話してください。



**板野中学校 a r** 一番最初の作文の文で「言った分だけ自分に返ってくる」という文はそのまま当たり前みたい、その通りだと思います。自分が友達とかに暴言をはいたら、向こうも暴言をはき返してくると…そのままもう終わらない話みたいになってしまいます。次は暴力をふるったらまた返ってくる。これもあるんですが、そのままやったらやり返されるという、何というか未熟な

ものとしか言えないだろうと思います。だから、自分は暴言とか暴力とかをふるってしまう時とかあるんですが、できるだけ極力、その暴言とか暴力とかをなくしていけたらなと思います。

**板野中学校 h** この3つの作文とはちょっと関係ないかもしれませんが、私はこの間、香川県にある大島青松園に行きました。そこには、ハンセン病回復者の人がいました。私は心に響いた言葉があります。それは一生ふるさとに帰れないということです。何でこんなことになったかと思いました。それと同和問題について同和地区とかそんななんにんで、そんなことになってしまったのかと思いました。だから、私にできることがあればなくしていきたいと思いました。

**高浦中学校 p** 私はたぶん差別などはずっとなくなれないと思います。理由は人には心があるから、どんなことでも言う時があるからなくなれないと思ったからです。でも、差別などの正しい知識を身につけることで減らすことはできると思いました。

**板野中学校 a r** さきほどのhさんの発表の付け足しをいたしますので、ハンセン病というのは、まあ簡単に言えばこれも差別問題なんですよ。ハンセン病の差別問題っていうのがあります。そこでハンセン病にかかった人たちはそのままふるさとに帰れないという、もうそこで一生暮らしているという、何とも過酷なものであります。そこでずーとそのまんま一生そこでおるっていうのがかわいそうに思えてきましたが、それで今ハンセン病回復者の人たちと25日に交流してきてハンセン病はもう治っていますが。みなさんちょっとここでみなさんがハンセン病回復者にあって手と

変形したり目が見えなかったりしてそのまま一人の人間だと思いますか。まあ、思える人が多いと思いますが、思えない人もいます。そこでハンセン病回復者の人たちと握手したりしたんですが、ここで一瞬だけちょっとだけためらってしまっていて、なぜためらってしまったんだろうと心の中で思ったらやっぱり人間と考えれなかったんですよ。手とか変形しとって骨が折れてそのままずーと治療してないみたいで、もう普通のひと差し指の半分ぐらいの手とか、目が見えなくてちょっと喉とかも口とかもちょっと変形しちゃってるので、そこで何かやっぱり一人の人間と思えなくなってしまっていて。やっぱりそこでためらってしまったのが1つの悩みでもありました。こんなに話を長々とするとみなさんが退屈になると思いますので、ここできりますんで、すみません。



**大麻中学校 t** がらっと話は変わるんですが、私には兄弟がいます。自分入れて4人いるんですけど、うちが一番下なんですよ。よくみんな差別とかやいじめとかしてないって聞かれて、みんな「してない。」って言うけど、まあ、一番末っ子の人とかは、年下がほしいとか、お兄ちゃんとかお姉ちゃんがおらん人は年上がほしいとか言うように、それはちっちゃい子がかわいいとかそ

んな気持ちだろうと思うんですけど。例えばテストの点が自分より悪い人がおって、あーよかったとか自分より下を求めたり、自分より下の人には自分が上じゃーと何か勘違いをしてきつくあたったり、している人いるんじゃないかなあーってうちは思います。それに対して、差別してないとか、いじめしてないとか言えるのかなあって思って話をさせてもらったことと、みんなさっきからずーと意見聞いてたら、同じ人ばかりしか手を挙げて意見を言わないことに対して、みんなに質問を投げかけたいと思います。みんなにとって、仲間、友達とはなんですか。自分にとって仲間や友達はただ話をしたり、一人やけん、教室で一人やけん一緒におる、そういうそれだけの仲間だったらそれは仲間とか友達とか言えないと思います。自分より目立たない子と一緒にあったら、自分が目立つとか、目立つから一緒におるとか、その子とおったら何か自分が得するとか、そんなことを思って一緒にいるんだったら、それは仲間とか友達とかじゃないと思います。なので、これから高校に上がっていったり、中学1年生、2年生の人たちはあと1年、2年あるから、中学校の中で3年生の人は高校上がってとか、卒業するまでの間に本当の友達を見つけてみてください。本当に自分の相談できる相手とか心の底から話せる相手とかそういうのを探してみてください。ちなみに私の相談できる人は友達ではありません。身内の子なんですけど、いつも暇な時に家にいたり、夜まで遅くいたりしている子で誰にも話していないことまで言えます。そういう子をみんなにもつくってほしいです。なので、みんなにも考えてほしいです。今、周りにおける友達は本当にそういうことが話し合える友達ですか。

**大麻中学校 d** さっきtさんが言うた通り、俺は友達は何でも話し合える、嫌なことがあってもうれしい時があっても一緒に泣き合える友達、そういうのが友達って思うし。あと俺とtさんは、めっちゃちっちゃい時から一緒やけん、ほぼもう友達やけん、まあ大抵の気持ちは分かるんやけど。さっき女の子が差別はなくならないって言うてくれたんやけど、今みんなの発表の中で、知識、知識ってでとるけど、僕はこの差別はあかんですとか、ダメですとか。それ全部、知識じゃないっすか、自分が思っただけの。合っとうと思うんですよ。人権って僕思うんですけど、間違いはないと思うんですよ。何言うても正解だと思うんですよ。自分が思っことを言えば。僕はこのことは～と思いますとか、そういうのに対して、僕は間違っるとは言わないんですよ。でも、差別はなくならないに対して、じゃあ、知識だけで立ち向かえるかって言うたら、どうですか。知識だけでいけると思えますか。そういうところを考えて発表してくれたらうれしいです。



**藍住中学校 v** 今、知識って何かっていう話がでたけど、私知識って言うのはちゃんとしたものでないといけないと思うし、午前の部で吉成先生が「エタ」とかいう言葉も道徳の授業でなら使ってもいいって言っ

たけど、中途半端な気持ちで授業を受けている人がいるところで「エタ」とかいう言葉を教えたなら、間違った意味のまま広がってしまうと思うから、同じ道徳の授業でも受ける人の気持ちによって、使ってもいい場合と使ってはいけない場合があるのかなって思いました。



**中山中学校** n 何度もすいません。私はさっきの話とハンセン病についての話で、やっぱりハンセン病についてなんですけど、やっぱりハンセン病の人は当時の時、やっぱりふるさとに帰れないっていうのが悲しいんじゃないって、やっぱり当時その時、人として生きられないのが一番悲しかったんだと思いました。あと、正直、私そういうさっきの話について、正直、差別をやめようとかはっきり言わないんだけど、やっぱり私が思うのは、普段ささいな小さなことでも、やっぱりその小さなことが一人ひとりの深い思いがあって、そういう小さな親切も大切にしてほしいなと思います。

**屋島中学校** o さきほどの知識についての話で、確かに知識だけでは差別はなくなるんじゃないかと思います。そういう問題は解決しないんじゃないかなと思います。でも、知識を得ることによって、理解を得ることでもあると思うので、やっぱり知識だけでは解決しないと思うけど、知識のお

かげで得た理解、そういう同和問題とかは、ダメだっていうのは知識かもしれないけど、どうしてダメなのか、こういう人が悲しんでいるかとか、こういうのはやると他の人が悲しむからとか、そういう理解ってというのが、そういう同和問題を解決する手立てじゃないかなと話を聞いていて少し思いました。

**吉野中学校** f 私はここにいるみんなと友達・仲間になっていきたいです。そのためにも同じ話題の中でいろいろなことを話していきたいなと思いました。

**名和中学校** l ちょっと反論になってしまうけど、さっきnさんがハンセン病の人は人間として生きられないのが悲しいと言ったけど、人間としては生きていられると思うし、人間じゃないと考えてしまうのはいけないと思います。その人だってハンセン病だとしても一生懸命に生きているんだから、人間として生きていけないと思うのは、ちょっと違う偏見だと思います。



**国府中学校** e 私はさきほど、tさんが言った本当の仲間ということについて、私は本当に言える仲間は身内じゃなくっているんですけど、イトコやハトコと話したことがないので、また、イトコやハトコと話して言えるような身内になりたいと思いました。

**名和中学校 a s** さっき1さんが言った意見に僕は感動しました。

**大麻中学校 t** みんなはこの会にどうして参加しましたか。すごい違う話になるんですけど、先生に強制してこさされたとか、自分から進んできたとか、いろんな人がいると思うんですけど、毎年、これは一番上の姉に言われることなんですけど、来たくなくて来た人がいると思うんですけど、その来ていることを誇りに思っしてほしいと。姉にいつも毎年この会とか、この会とは別にある中高生集会の方とかで、参加した後姉と話し合う時にこういう人権交流集会があることにうれしく思っほしいし、参加できることに誇りをもってほしいと毎年のように言われて、もううんざりなんですけど。でもこの地域は最初らへんにdさんが言ってくれたように、部落の地域なんですけど昔ひどい差別をうけてきた人に対してはあれなんですけど、この地域は部落の地域でよかったなあとは私は思います。よかったなあって言うのは、こうやって地域のみんなとか他の学校のみんなとか、こうやって県外の人とか集まってくれて討論会をしたりできるし、真剣にダメだなんて思うことについてこうやって発表できるので、それについては私も姉に言われた通り誇りに思っています。みんなはこの会のことをどう思っていますか。1年生、2年生の人は来年も参加してほしいと思うし、受験生になって大変だと思うけど、でも受験と同じように人権は大切やから来年も再来年も参加してほしいし、できれば中高生集会の方にも来てほしいなと思いました。

**国府中学校 u** さっきのtさんの話のことで、2つ。1つ目の本当の仲間ってことなんですけど、私は本当の仲間は言い合える人だと思うんですけど、私はつらいことと

かを人に言うのがあんまり好きじゃなくて、ためこんでしまうタイプなんで、ちゃんと自分のことが言える友達をつくっていききたいなと思いました。2つ目はさっきのtさんの話で、私は先生に誘われてこの会に来ていて初めはとまどいがあったけど、最近はずごく楽しくてたくさんのことを学びたいと思ってきています。そのことでさっきの作文の中にあったけど、私もおばあちゃんやおじいちゃんに「なんでその人権の会に行くの。」って言われました。「そんな人権のことを学んでどうなるの。」って言われました。すごくつらかったし、もっと人権のことを知ってもらいたいなって思いました。だから、もっとたくさんの人にこの会のことを知ってもらいたいです。



**藍住中学校 a t** 私がこの会に参加した理由は先生に誘われたからです。最初はめんどくさいなって思っていたけど、この会に参加することで、学ぶものもたくさんあったしこれでよかったなって思っています。来年も再来年もこの会に参加したいです。

**大山中学校 q** 流れるにちょっと話が変わるんですけど、さっき1さんが言った話なんですけど、僕もそれに賛成しています。ハンセン病にかかった人はなりたくてハンセン病になったわけではなくて、もしなっ

ていなかったら違う人生を送っていただろうし、見た時に人間じゃなかったってことは、見た時にじゃあなんだったですか。エイリアンですか。宇宙人ですか。

**司会者** さっきの話なんですけど、ハンセン病の話をしてくれた人でさっきの意見に対して思っていることや説明したいことはありますか。さっきの意見に対して。

**中山中学校 n** 確かに自分自身で思っていないかもしれないけど、外からそう見られた悲しいじゃないかと思ってそう言いました。

**大西(藍住中学校教諭)** さきほど今いってくれた子のね、最初の意見とそれからその意見に対して考えを言ってくれた子との間に誤解があったんじゃないかなってすごく感じます。他の子が言ってくれたことと彼女が言ったことっていうのは違ってて、彼女は人に周りから人間扱いされなかったこと、それがおかしいんじゃないかという風な意見を言ってたんだと思うんだけどもなんかどっかでねじれちゃったんじゃないかなと思いますので、ちょっと誰か友達とか応援してあげる人、補足してあげたらいいんじゃないかなと思います。



**大麻中学校 t** さっき言うてくれたみたいに誰にでも偏見、見た目で判断してしまうということはあると思います。そのことで

周りから、もしじゃあ自分が何か障害をもってたとして、周りからあの人どうじゃこうじゃ言われて、たとえ言われたとして自分はどう思いますか。ほかの人と違うって言われてどう思いますか。ハンセン病で後遺症が残ってしまうのは、仕方がないとは言えないんですけど、でもハンセン病っていうのは人の誤った間違った考えで大きな事件が起きてしまったわけで、そのハンセン病になった人が悪いのではないし、それでそのせいで後遺症になってしまった人も悪くないし、それは病気のせいだとは言えないし、周りの人のせいとも言えないと思います。「ほんなん、偏見で一。」ってみんな言うけど、自分はどうなのかなあって思います。車椅子乗っとる人がおったら、あーあの人車椅子乗っとるわって、松葉杖とか足が悪い人がついている人とかみたら少し違った目で見ってしまうことはないですか。この会はきつく人にあたる会ではありません。意見を言うんですけど、その人を責める会ではありません。反論をしてくれてもいいんですけど、言葉を選んでほしいなと思います。悪口いわれて嫌だなあ、悪口いわんようにしたいなあ、そうやって思うんだったらこういう時にも言葉を少し選ぶのはできないんでしょうか。傷つけ合う会ではありません。意見発表してそれに対してまたそれに意見を重ねて自分の意見を重ねて言う会です。この会を通して、傷ついて後悔したまま帰ってほしくないです。それは、みんな同じだと思います。こんな会来たくないとか思わせるような会にしないような言葉でしゃべってほしいと思います。お願いします。

**大麻中学校 d** 今ちょっと話の内容がストレートすぎて、言いたい気持ちは分かるんやけど、ちょっと真っ向勝負いっとるけん、ちょっと分からんこともあったり、グザッ

てささる言葉もあるけん、話しよってごっつい難しいし。で、俺が3年間こうやって今までやってきて実行委員長とかやらしてもらったんやけど、中1の時に初めてこの会に参加した時に、もう先輩の姿を見てごっつい言うて言うてしよったんよな。こんな会あるんじやって思って小学校からやってきとったけど、こんな言う会あるんじやと思って俺もこの会ずっと続けて、実行委員長なってやろうと思って、今なっとんよ。ほれで俺が今ちょっと言いたいんは、みんなこうやって来て、悲しんで帰ってもらいたくないんよな。ほなって人権について語り合いにきとんのに、一人でも悲しい顔して帰ったらしんだいで。何しにきたんってなるで。もうちょっと言葉考えて、みんながすっきりして帰れるようにやりたいって思って、昨日からずっとリハーサルもゲームをしたりして、頑張ってきたけん、もうちょっと何て言うのかなあ。ストレートに言わんと支えてあげる感じで、周りの友達もせっかく友達おるんやけん、ちょっとこの子言いにくそうやなと思ったらほうちやうん、ああちやうんって支えてあげたりな。もうちょっとみんなでゆっくり落ち着いて話していったらいいかなと思います。



**高浦中学校 a g** 少し前の話になるんですけど、ねじれた所はたぶん人じゃないからかわいそうっていう発言があったと言ってたんですけど、たぶんそれは人じゃないからかわいそう、人じゃないって見られていることがかわいそう、だから少しでも知ってあげたいって、そういう気持ちがあったんじゃないかなと解釈しました。間違ったらすみません。

**司会者** まだまだ発表はあると思いますが、次の休憩後にももう1回会があるので、この10分の休憩の間に心を整理して、次のⅡ部の方で発表できるようにしてください。開始時間は2時40分から開始したいと思います。10分後にはもとの席に戻ってください。

**実行委員長** ここで高浜中学校の方たちが帰られます。で、まだまだ話したいとか思っている人もいるかもしれませんが、それはまた来年、高校生になっても来てもらってもいいし、また自分より年下の人とかの人を連れてきて、討論してくれたらいいし、今日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

**高浜中学校の生徒** 昨日と今日と2日間でしたが楽しかったし、いろいろあったけど、高中は遠いし時間かかるけど、ここで帰ることになりました。楽しかったからお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

**司会者** では、これから10分間の休憩をとりたいと思います。2時40分から開始するので、もとの席に戻ってきてください。